

インド、大幅な法人税率引き下げを発表 予想外の発表を好感し、株式市場は急騰

情報提供資料 2019年9月25日

シタラマン財務相が会見で大幅な法人税率の引き下げなどの税制の変更を発表しました。同発表は市場の想定外であったため、当日の株式市場は大幅高となりました。

▶ 予想外の法人税率引き下げ

■ 9月20日にシタラマン財務相が会見で法人税率の引き下げを発表しました。引き下げ後の税率は22%となりますが、実際はこれに付加税や目的税などが加味され、実効税率は25.17%となる見込みです。従来の大企業^{※1}の法人税率は30%で、実効税率は30%台前半でした。この減税は、2019/20年度の始まった今年4月1日に遡って適用されます。また、最低代替税^{※2}の支払いも不要となりました。

■ さらに、製造業の振興策「メイク・イン・インド」を促進するため、10月1日以降に法人格を取得する製造業者に対しては、2023年3月までに生産を開始するという条件で、税率が15%（実効税率17.01%）に引き下げられます。従来は25%^{※3}でした。

■ また、7月5日の予算案では自社株買いに今後課税されることが発表されていましたが、7月5日より前に発表された自社株買いについては適用されないとしました。

※1 売上高40億ルピーを超える企業。

※2 会計上の利益に一定の比率を掛けた金額が法人税額を上回る場合に最低代替税を支払うことが求められる。

※3 売上高25億ルピーを超える新しい製造業の企業にかかる税率。

▶ 立て続けに発表された景気支援策

■ 4-6月期実質GDP成長率が+5.0%（前年同期比）と6年ぶりの低水準となるなど、足元は景気減速感が強まってきました。インド準備銀行（中央銀行、RBI）は今年に入って4回連続で利下げを行い景気を支援してきました。政府も8月下旬以降、住宅金融への追加流動性支援や低迷する自動車販売テコ入れのための支援策、国営銀行再編などを相次いで発表してきました。今回の法人税減税はそれに続くものです。

SENSEX指数の推移
(2019年1月1日～2019年9月23日)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

▶ 株式市場は急騰、ただし債券価格は下落

■ 今回の法人税減税は、インド金融市場では全く予想されていませんでした。株式市場では、減税が企業の税引後利益の増加に直結するとして好感され、発表当日は主要株価指数であるSENSEX指数が+5.3%（前日比）の上昇となりました。1日の上昇率としては過去10年で最大となります。

■ 為替市場でも、ポジティブサプライズとして受け止められ、インドルピーは対米ドルで+0.3%（前日比）上昇しました。

■ 債券市場では、法人税減税が財政を圧迫するとの見方から、10年国債利回りは+0.15%上昇（前日差）。価格は下落しました。政府はこの一連の減税により税収が1.45兆ルピー（約2.2兆円*）減るとしています。

*1ルピー = 1.5194円で換算。

▶ 今後の見通し

■ 税率を引き下げること、下院総選挙でのインド人民党（BJP）のマニフェストに謳われていましたが、第2次モディ政権発足から4か月足らずで実施される形となりました。インド現地では大胆な改革として高く評価されています。

■ インドの法人税の実効税率は、他国と比較して高いと指摘されていましたが、今回の減税で税率は他のアジア諸国並みになり、海外企業のインドへの進出につながる事が期待されます。この減税は短期的な景気支援にとどまらず、中長期的にインドの競争力を高めることにつながるものと見られます。

ご注意：本資料は、税金についてアドバイスすることを意図したものではありません。

インドルピーの対円レートの推移
(2019年1月1日～2019年9月23日)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

190925 (01)

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会